

2015年8月14日

## 2015年12月期第2四半期 決算説明会 質疑応答

株式会社リブセンス

2015年8月14日（金）開催の「2015年12月期第2四半期 決算説明会」における質疑応答の概要は下記の通りです。

### <下半期の業績見通しについて>

- 【Q】 下半期の見通し、広告宣伝費のかけ方について教えてください。
- 【A】 上半期は営業損失を計上する結果となりましたが、上半期に進めてきた施策が下半期に収益貢献してくると想定しており、通期計画は変更せず黒字を予定しております。  
広告宣伝費については、Web 広告出稿に関し効率的に運用できる体制が整ってきており、これまで以上に費用対効果を重視した出稿を行ってまいります。

### <株式会社 waja について>

- 【Q】 waja 社の連結子会社化に係るのれんの償却期間について教えてください。
- 【A】 発生したのれんの金額 3.5 億円につき、8 年間の均等償却を予定しております。（第 10 期第 2 四半期報告書 20 ページに記載）償却コストは P/L を取り込む 3Q より計上する予定です。
  
- 【Q】 waja 社の収益状況について教えてください。
- 【A】 4 月に waja 社を子会社し、現在、Web マーケティングの強化など弊社のノウハウを活かし様々なサポートを行っておりますが、成果が出るまでには一定の時間がかかると考えております。グループ一体となって早期の収益化に努めてまいります。

### <米国子会社の解散・新規事業の撤退基準について>

- 【Q】 米国子会社の早期解散について、当初見通しからどのような誤算が生じたのでしょうか。新規事業についての撤退基準についても併せて教えてください。
- 【A】 米国子会社について、直近の取り組みの延長では新規サービスの立ち上がりに相当な時間を要すると判断し、まずは国内の既存事業に注力すべきと考えたため、一旦、撤退することといたしました。今後の海外戦略については、引き続き、国内で情報収集や人的ネットワーク構築を行うなど、プロジェクトチームをつくり推進してまいります。  
新規事業については、事業展開する領域やサービス内容により判断基準は異なりますが、予め投資額と意思決定に係る時間軸を明確に設定した上で運用を行っております。

以上